

公益財団法人 8020 推進財団

平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：

在宅歯科診療の普及促進のための事業

2. 申請者名：

一般社団法人 千葉県歯科医師会 会長 斎藤 英生

3. 実施組織：

一般社団法人 千葉県歯科医師会

協力団体：

千葉大学歯科口腔外科学講座 千葉ろうさい病院 千葉県介護支援専門員協議会 市原市医師会
市原市ケアマネージャー連絡会 千葉市歯科医師会 市原市歯科医師会

4. 事業の概要：

在宅歯科医療のさらなる活性化のために、病院を退院する患者に対する多職種が参加する退院時カンファレンスに歯科が積極的に参加できるシステム構築を目指した。退院時歯科パスを作成し、実際にパスを使用したカンファレンスを開催することで、退院後の在宅歯科診療に円滑に移行できる体制を整えた。

5. 事業の内容：

- ① 協力団体との会議開催
- ② 事業対象患者募集のための説明用リーフレット及び同意書の作成
- ③ 退院時歯科パスの作成
- ④ 多職種が参加する退院時カンファレンスの開催と在宅側歯科医療機関の参加
- ⑤ 在宅歯科医療の実施

6. 実施後の評価（今後の課題）：

入院を機に口腔機能が低下し、放置されることで悪化した口腔内の在宅療養高齢者への対処は、極力早い段階で歯科が介入することが必要であり、歯科職種の退院時カンファレンスへの参加から在宅歯科診療への移行は最も効果的である。一方で退院日の決定からカンファレンス日程の調整まで時間が短く、多くが個人で開業している歯科においては外来患者のアポイントの関係上、参加が非常に難しい。また、患者側も退院後の生活環境の変化への対応に追われ、口腔内は後回しにされることから、今後は入退院時における患者へのさらなる周知と、カンファレンス開催に当たり、迅速な連絡と開催時間の工夫など働きかける必要がある。